



さて、モーセの律法による彼らのきよめの期間が満ちたとき、両親は幼子を主にささげるために、エルサレムへ連れて行った。…中略… そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルの慰められることを待ち望んでいた。聖霊が彼の上にとどまっておられた。また、主のキリストを見るまでは、決して死なないと、聖霊のお告げを受けていた。

主よ、日本に訪れてください

彼が御霊に感じて宮にはいると、幼子イエスを連れて両親が、その子のために律法の慣習を守るために、はいて来た。すると、シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。

「主よ、今こそあなたは、あなたのしもべを、みことばどおり、安らかに去らせてくださいます。私の目があなたの御救いを見たからです。」…中略… また、アセル族のバヌエルの娘で女預言者のアンナという人がいた。この人は非常に年をとっていた。彼女の時代のあと7年間、夫とともに住み、その後やもめになり、84歳になっていた。そして宮を離れず、夜も昼も、断食と祈りをもって神に仕えていた。ちょうどこのとき、彼女もそこにいて、神に感謝をささげ、そして、エルサレムの静けさを感じて待っているすべての人々に、この幼子のことを語った。(ルカの福音書 2章22〜38節)

最近、私はこの記事を読み、大変喜ばれました。シメオンとアンナは、主の御降誕を心から待ち望んでいて、ついに救い主にお会いした人々です。アンナは、昼

も夜も主を待ち望み祈っておりました。「この人は非常に年をとっていた。…84歳になっていた。」とありますが、私も、今年9月20日で84歳を迎えます。昼も夜も、日本の大リバイバルを待ち望み祈り続けていますのは、私だけではなく、日本中の多くのクリスチャンも同じでしょう。

シメオンは、ルカ2:26で「主のキリストを見るまでは、決して死なないと、聖霊のお告げを受けていた。」とされています。私には聖霊のお告げはありませんが、「日本に大リバイバルが来るのを見るまでは、決して死にたくはない」そんな思いがあります。

1993年に「全日本リバイバル甲子園ミッション」が開催されてから今年で20年になりました。その記念集会として、5月5日、6日に「ゴールデンウィークP&P聖会」が、日本にリバイバルの到来を求めて行われました。従来はP&Pという賛美と祈りを中心とした集会でしたが、今回は聖会を入れて、5回の集まりが持たれました。

第1聖会では、甲子園ミッションの映像を見た後に、私が「なぜ甲子園ミッションが主によってなされたか」について語り、第2聖会では、有賀喜一師が「現在の世界情勢と世界で神がなされているリバイバル」について詳しく語られ、「霊的戦いの鍵を握っている日本こそ、世界の希望である」と力強く宣言されました。その後、甲子園ミッション最終日第3夜の伝道大会の様子が1時間30分にわたり上映され、涙とともに、日本のリバイバルを切に願う思いが、さらに新たにされました。5月6日の早期5時から、会場に近い本宮山(標高

789.2m)の山頂に、50名以上の兄弟が登り、ざわめき代表の滝元明の賛美リードで一杯賛美しました。今回のゲストとして招きましたプロミュージシャンたちも、ドラム、ギター、キーボード、ベースを用いて、日本のリバイバルを求めて賛美をささげ、私も一緒に山に登り、新しい油注ぎを求めました。第3聖会では、和歌山県橋本バプテスト教会の牧師である平岡修治師が、今年開催される「和歌山リバイバルミッション」のために詩篇121篇からメッセージされ、続いて第4聖会では滝元明師が「霊的戦いもミッションの働きも、最終的な目的は、主のご計画を完成させ、御再臨の実現を見るためであり、まもなく御再臨されるイエス様の道を備えるものである」と語られて、一同が大いに恵まれました。

アンナのように、非常に年老いた私も、今は恵みにより元気です。今年1月から12月まで、和歌山リバイバルミッションと、そのための決起大会、また、滝元明ミニストリーも行い、各教会の要請に応じて、全国で奉仕させていただきます。また、11月にはハワイからもお招きがあります。益々、聖霊の油に満たされて、健康で奉仕できるようにお祈りください。



●全日本リバイバルミッション主幹
 Akira Takimoto
滝元明

和歌山リバイバルミッション
 Wakayama Revival Mission

和歌山リバイバルミッションのために祈りください。
2013年8月23日[金]—24日[土]
会場／和歌山市民会館小ホール

和歌山リバイバルミッションのプログラムが決定しました。

時間	8月23日[金]	8月24日[土]	時間
		霊的戦いセミナー 講師：滝元明	9:30
			11:30
		賛美集会 ミニコンサート メッセージ：滝元明	14:00
			16:00
		伝道集会 メッセージ：有賀喜一	17:00
18:30	伝道集会 メッセージ：滝元明		18:30
20:30			19:00

※プログラムは都合により変更する場合があります。

和歌山リバイバルミッション 決起大会
 [メッセージ]
 全日本リバイバルミッション実行委員
 [ゲスト]
ロン・ブラウン氏

- 6月8日[土] 木本バプテスト・キリスト教会
- 6月9日[日] 勝浦キリストバプテスト教会
新宮キリストバプテスト教会
- 6月10日[月]
- 6月11日[火] 枚方バプテスト・キリスト教会
- 6月12日[水] 日高恵みバプテスト・キリスト教会
- 6月13日[木] 奈良福音教会
- 6月14日[金] 南紀リバーサイドチャーチ
- 6月15日[土] 三栖キリスト教会
- 6月16日[日] 和歌山福音教会
フルゴスペル和歌山教会
- 6月17日[月]
- 6月18日[火] 名草キリスト教会
- 6月19日[水] フルゴスペル
純福音吹上キリスト教会
- 6月20日[木] 和歌山シオン教会
- 6月21日[金] 和歌山西バプテスト教会
- 6月22日[土] 紀ノ川チャペル
- 6月23日[日] 橋本バプテスト教会粉河チャペル
- 6月24日[月] 岬福音教会
橋本バプテスト教会



●テーマソング
「私の助けはイエス・キリスト」
 ができました。
 ※ホームページから楽譜がダウンロードできます。

お近くの会場へぜひお出かけください。
 ※詳しいお問い合わせは、
 全日本リバイバルミッション事務局まで
0120-291-372

トラクト配布
7月15日(月・海の日)
午前10時
 涙とともに心を弱く書は、喜び叫びながら取り取ろう。
 (詩篇34:1)

集合／午前10時(紀伊勝浦駅前)
 配布時間／午前10時～午後3時
 (部分参加でも結構です)
 ※遠方の方々のために勝浦バプテスト教会のご厚意により宿泊させていただきます。
 (男性4名、女性3名、定員になり次第メドとなります)
 宿泊された方は全日本リバイバルミッション事務局までご連絡ください。

2011年9月の台風12号による豪雨災害で死者行方不明者が計29人、全壊家屋103棟、半壊家屋905棟、床上浸水440棟、床下浸水926棟、那智勝浦町の約1/3が被害に遭い、今でも大きな爪痕を残している和歌山県那智勝浦町に出かけて行き、トラクト配布を計画しました。ぜひあなたも参加してください。
 那智勝浦町(2013年5月1日現在)
 人口:17,016人 男性:7,878人 女性:9,138人
 世帯数:8,354世帯

アジア・環太平洋リバイバルミッション

For our 20th Anniversary:
 Asia/Pacific Rim Mission
タイ国チェンマイで開催!!
2014年2月13日[木]—16日[日]

